

令和4年8月豪雨の災害復旧について

令和6年5月29日

近畿地方整備局

滋賀県

長浜市

水資源機構

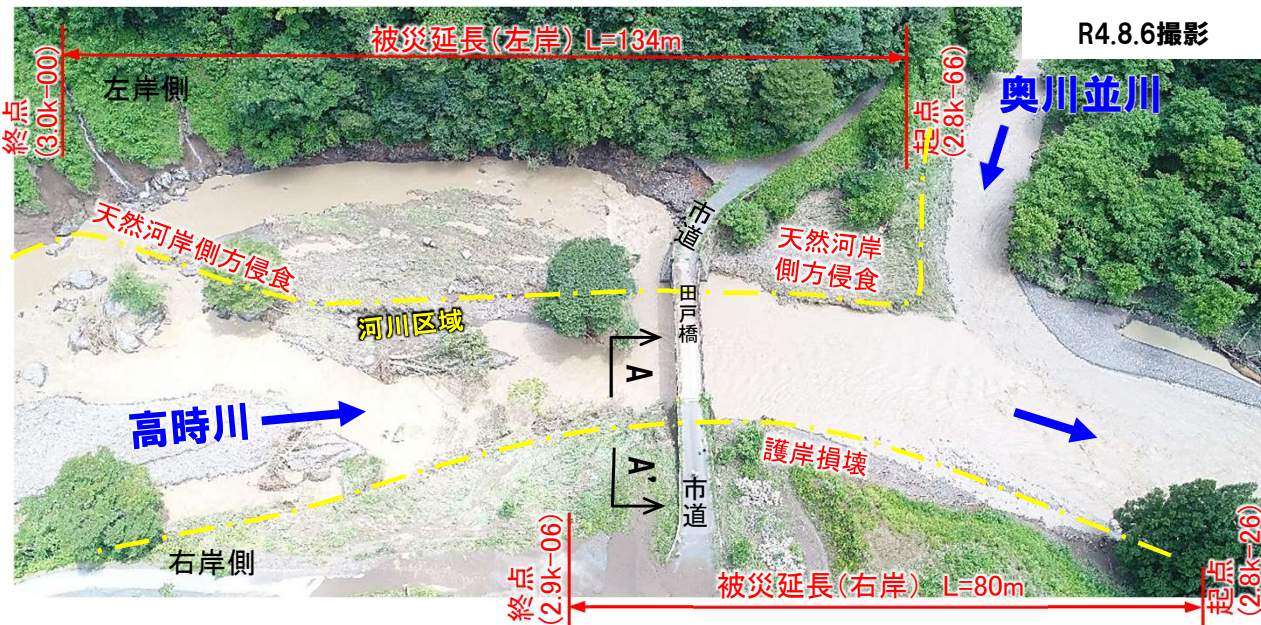
高時川 直轄河川災害 R5実施箇所

【R6.1月末 現在】



高時川 被災状況と復旧内容 (No.1)

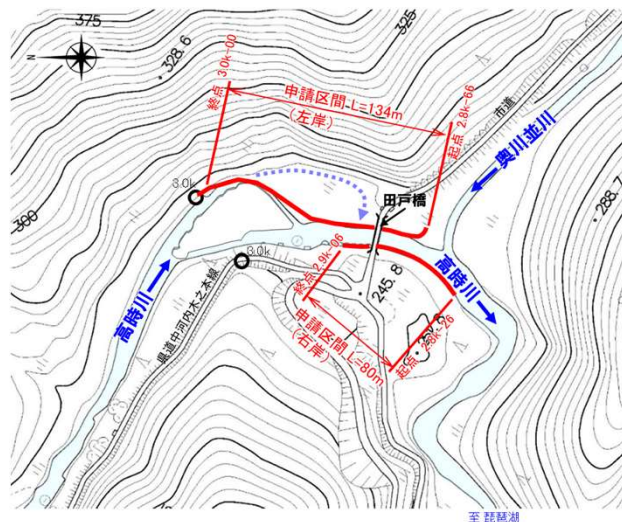
被災状況



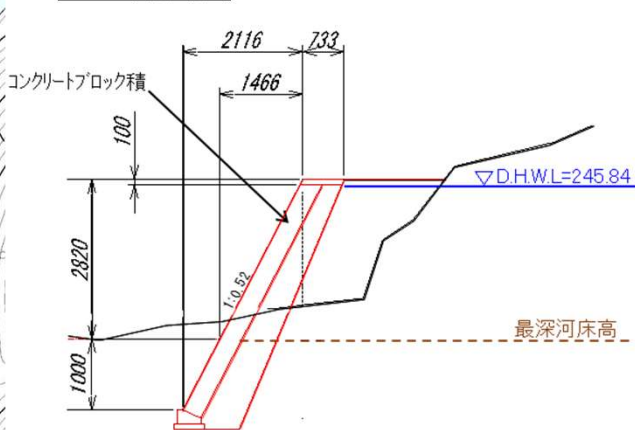
施工状況



復旧内容



A-A' 断面図



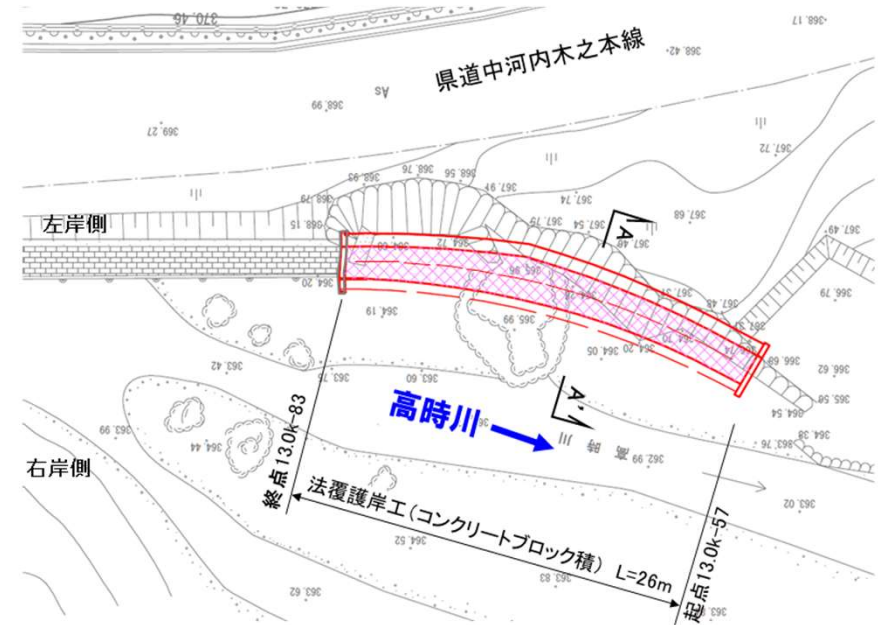
高時川 被災状況と復旧内容 (No.2)

(R5.9)

着手前



復旧内容

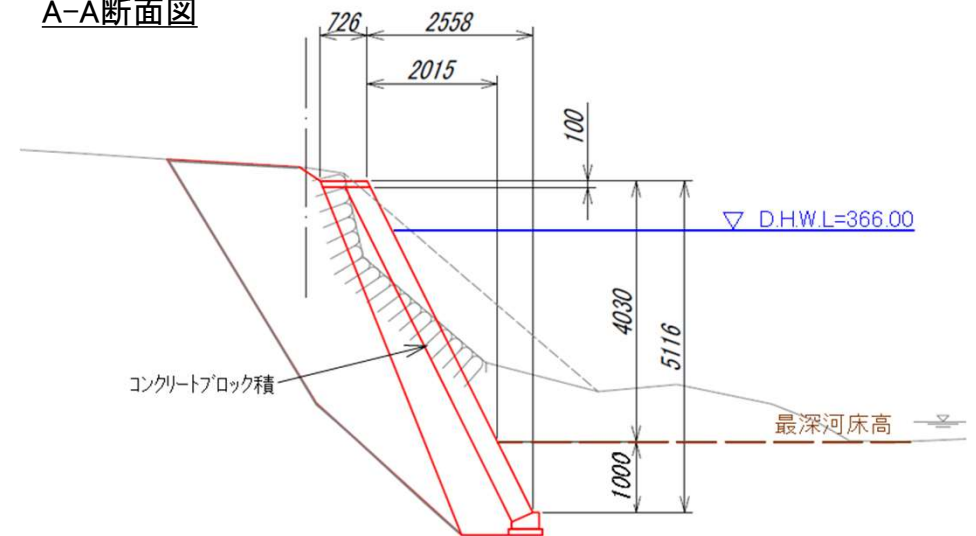


施工完了

完了 (R5.9)



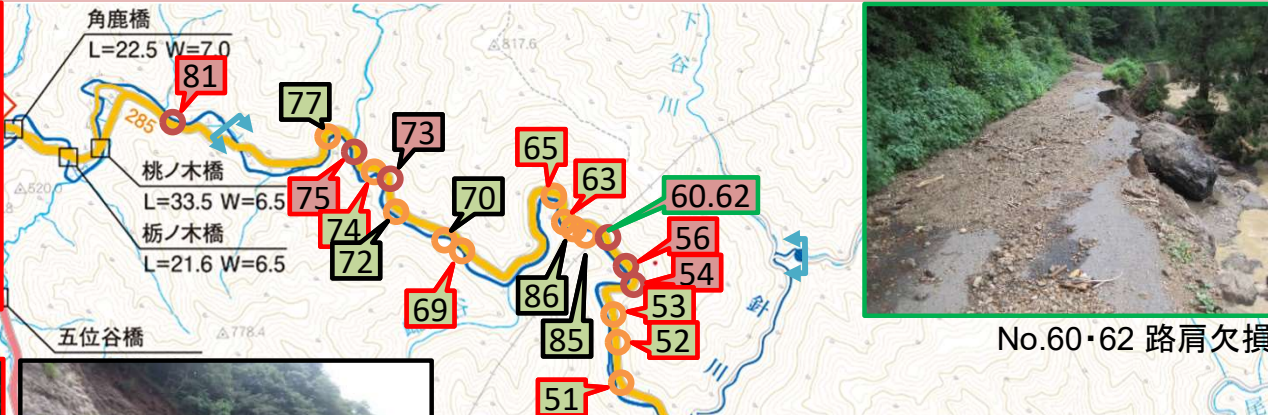
A-A断面図



県道中河内木之本線 災害復旧工事進捗状況



No.81 路肩欠損



No.60・62 路肩欠損



No.56 路肩欠損



No.75 路肩欠損



No.73 法面崩壊



No.54 路肩欠損



No.44・45 路肩欠損



No.49 路肩欠損



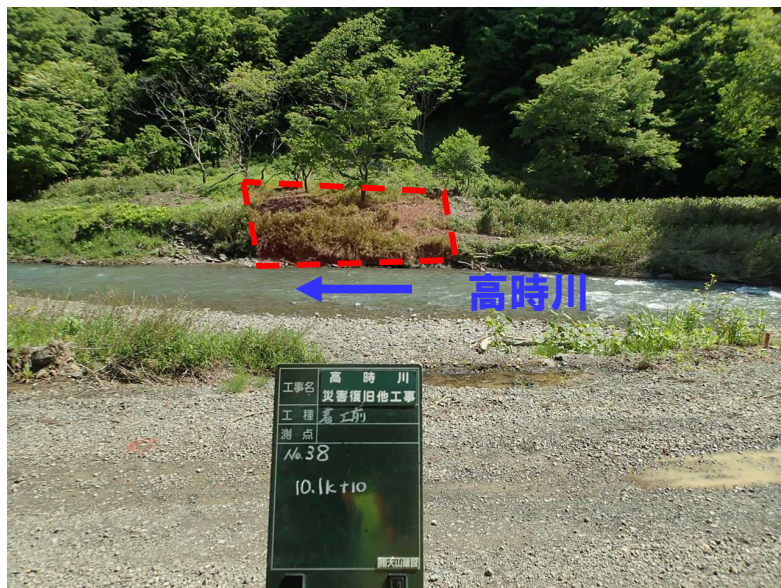
No.21 路肩欠損

【令和6年2月末現在】

補助	11箇所		R5完成箇所 (補助1箇所、単独12箇所)
単独	22箇所		施工中(補助4箇所)
※番号には欠番があります。			R6以降実施予定

県道中河内木之本線 被災状況と復旧内容 (No.38)

着手前

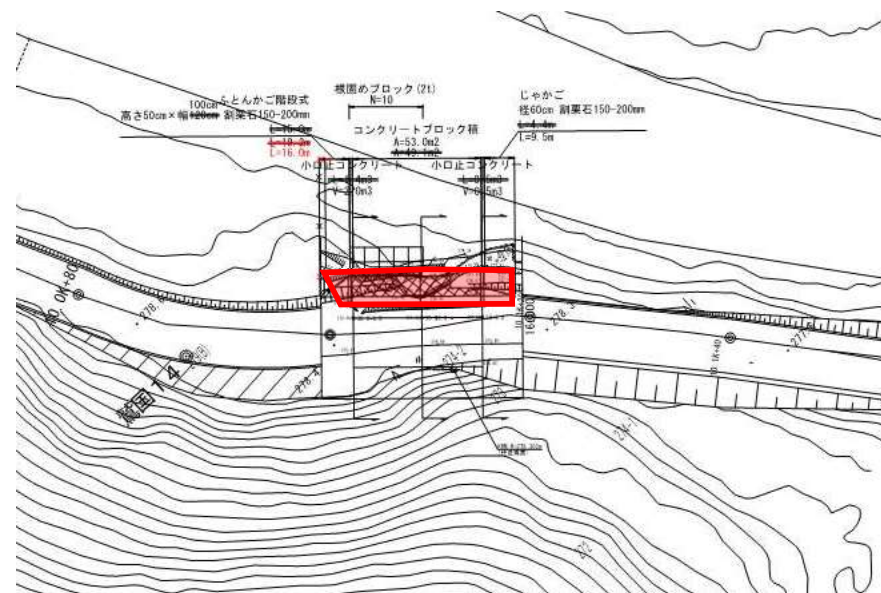


完成

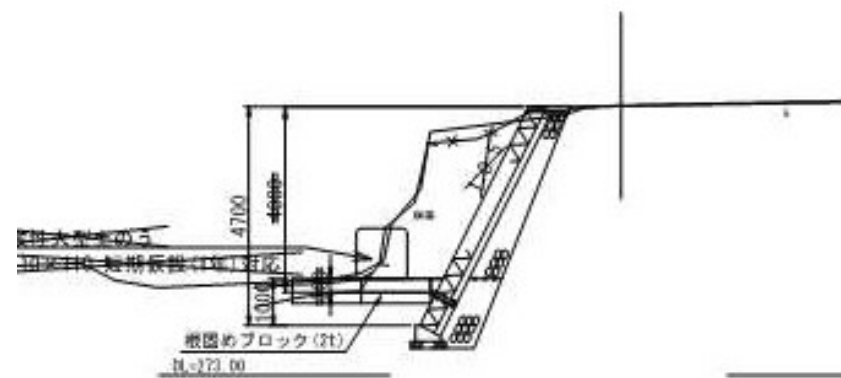


復旧内容

平面図



横断面図



県道中河内木之本線 被災状況と復旧内容 (No.73)

施工前

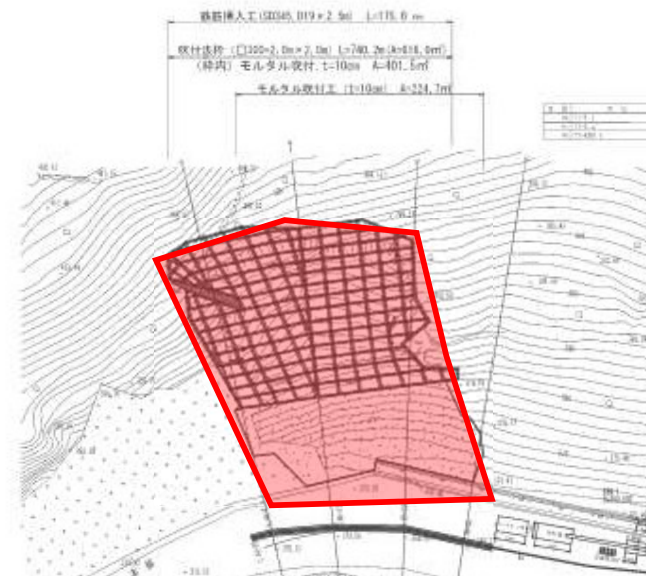


完成

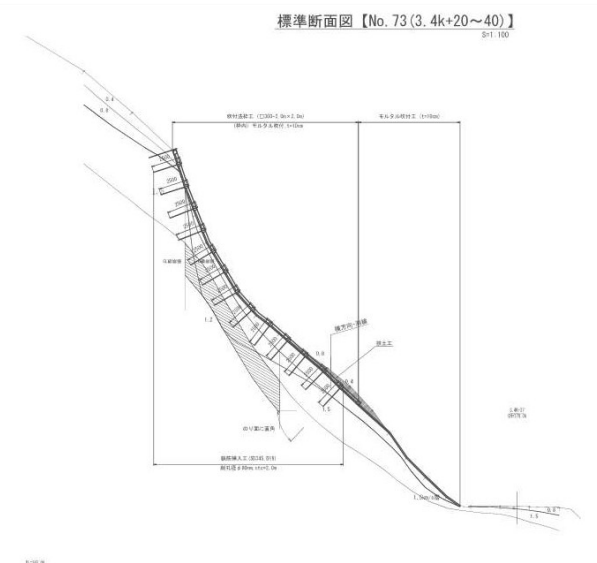


復旧内容

平面図

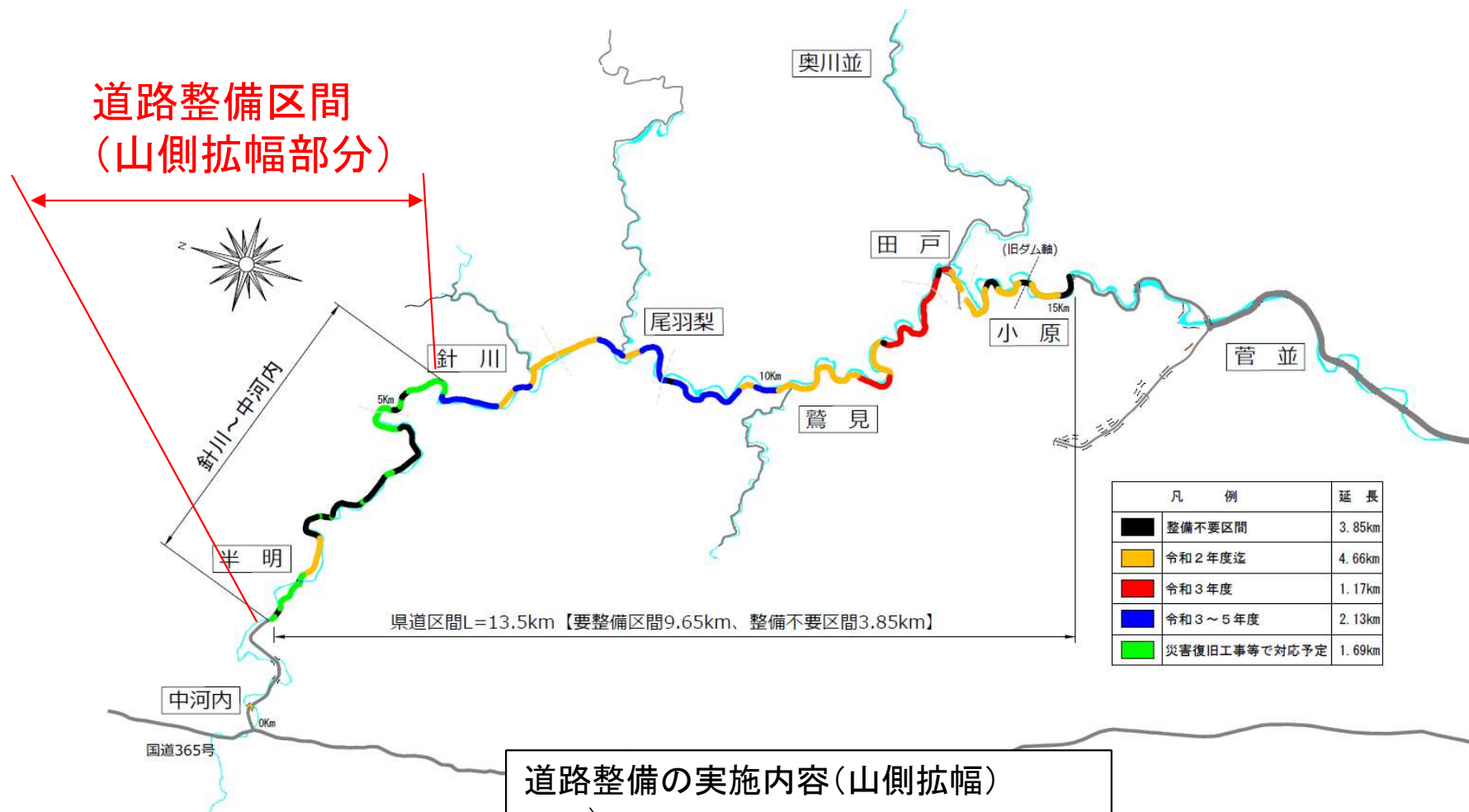


横断面図

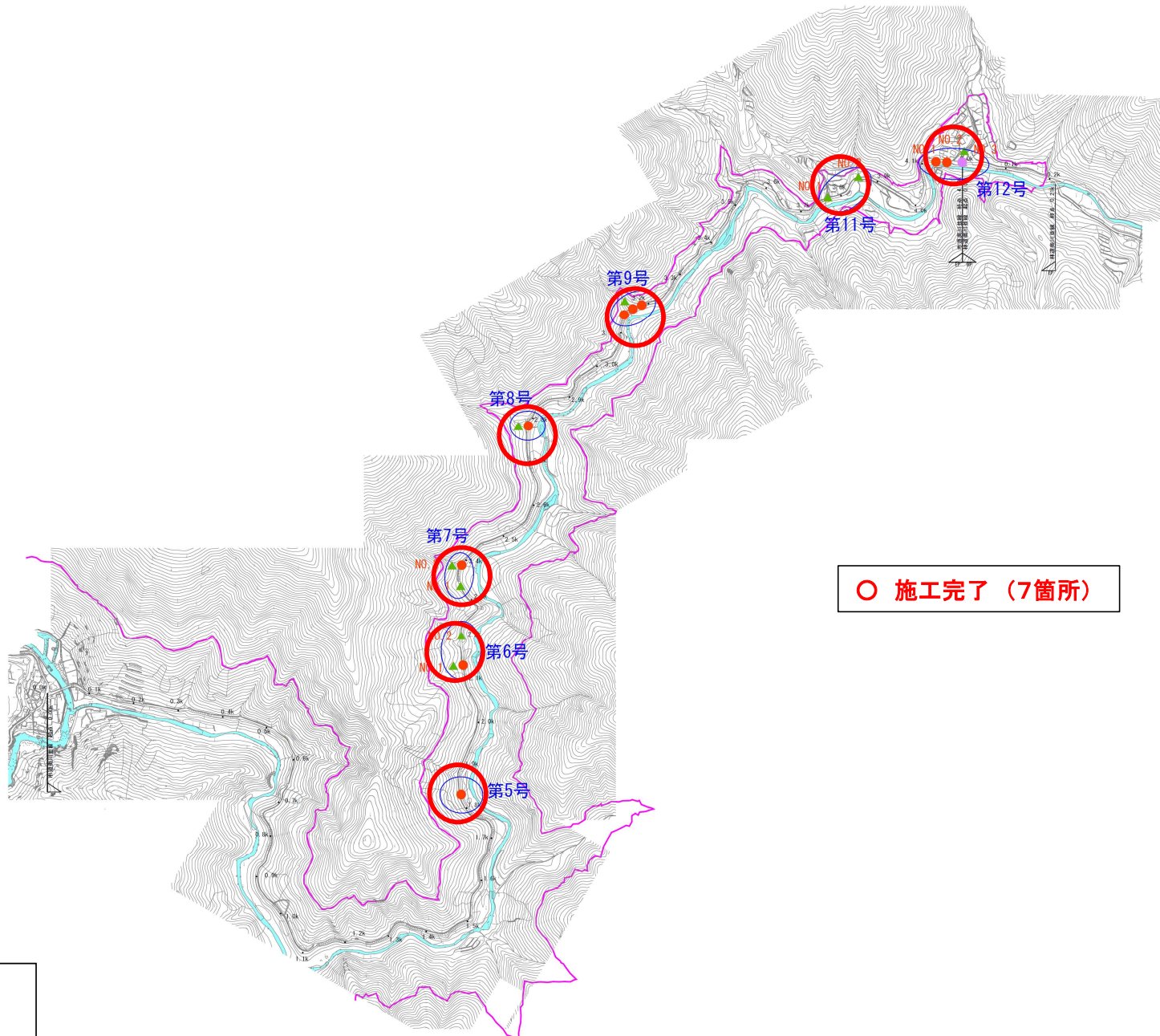


災害復旧工事に合わせて施工する道路整備(県道中河内木之本線)について

針川～中河内工区の道路整備区間(山側拡幅部分)については災害復旧工事と合わせて施工することで、地域整備実施計画にかかる道路整備の進ちよくを図る。



市道奥川並線 災害復旧工事進捗状況



○ 施工完了 (7箇所)

凡 例

- 路肩崩れ
- ▲ 土砂流出
- その他
- 官民境界線

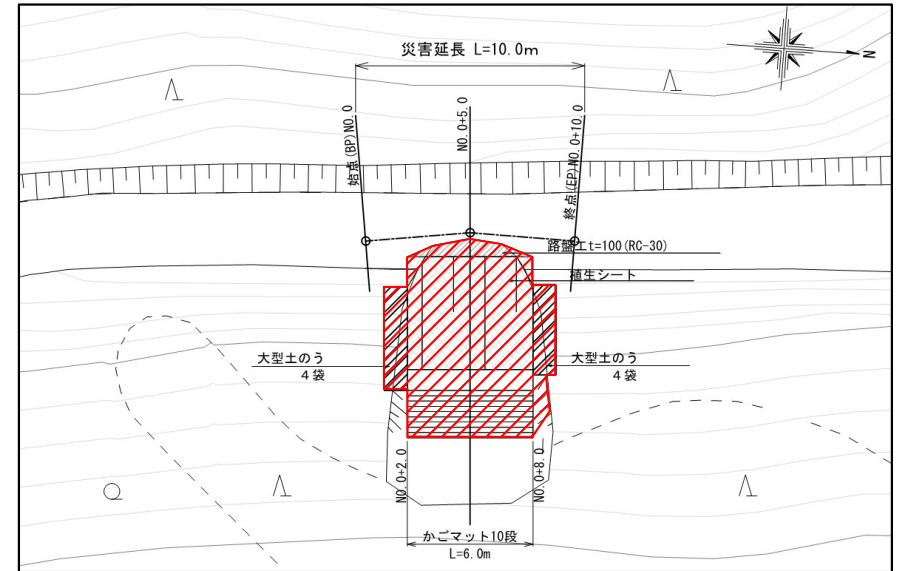
【R5. 12月末 現在】

市道奥川並線 被災状況と復旧内容 (第5号)

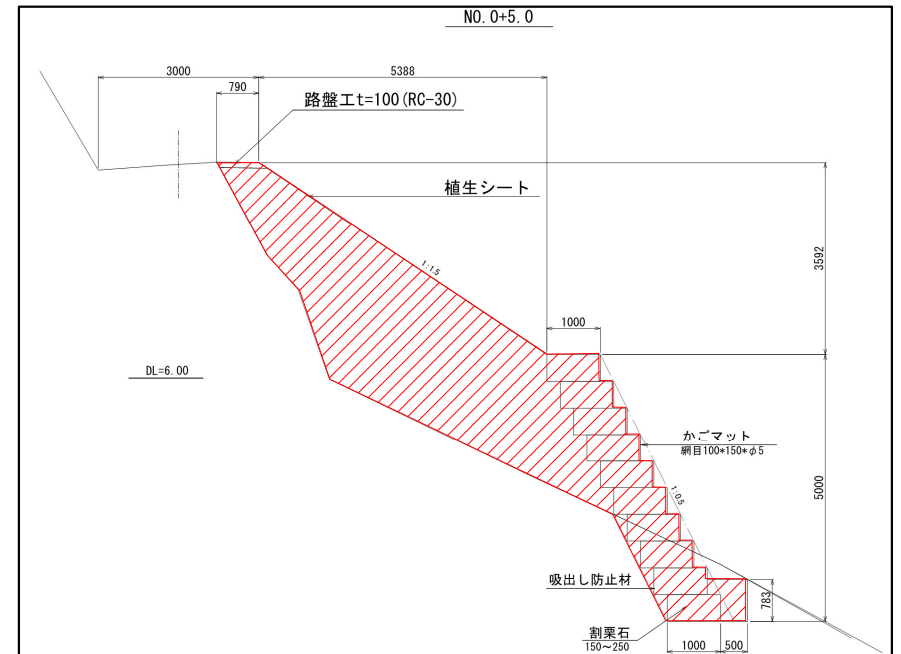
着手前



復旧内容



完了



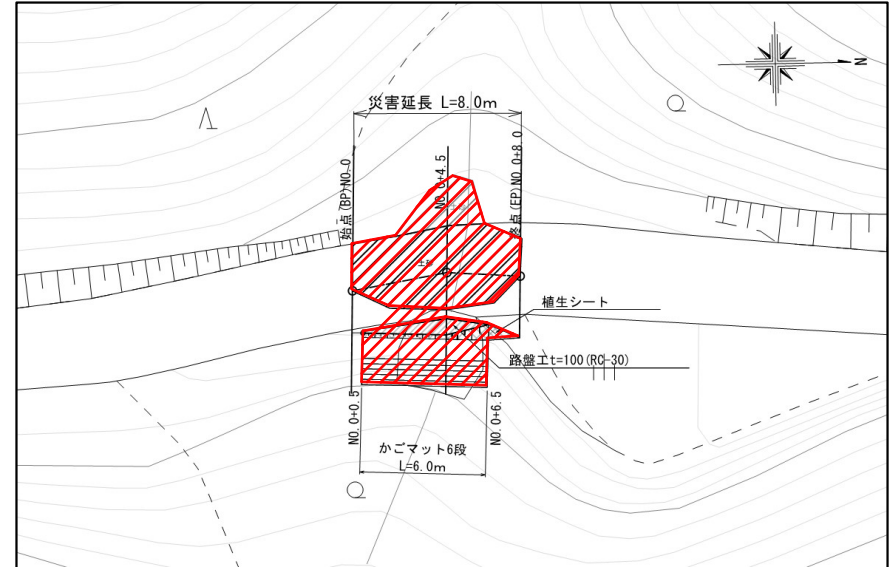
市道奥川並線 被災状況と復旧内容 (第6号)

着手前

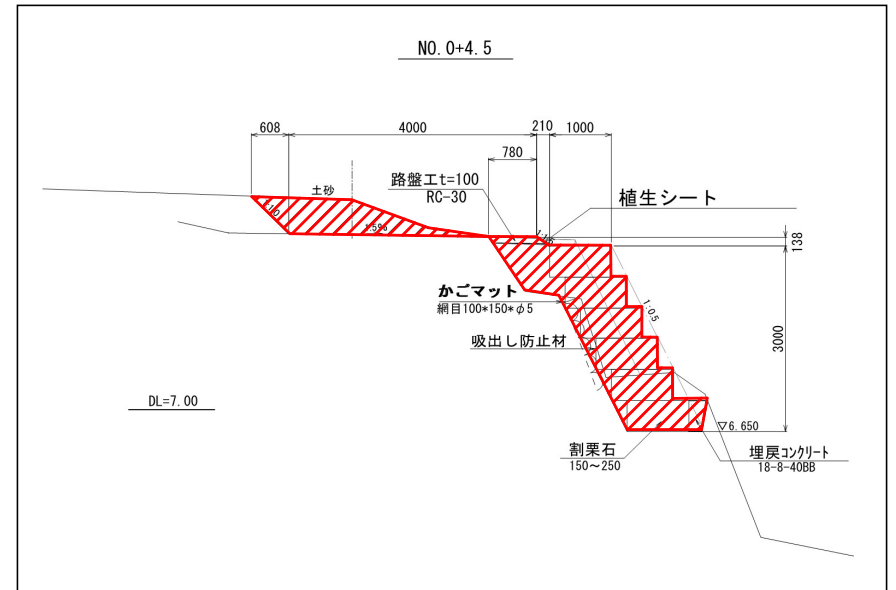
土砂流出・路肩崩落



復旧内容



完了



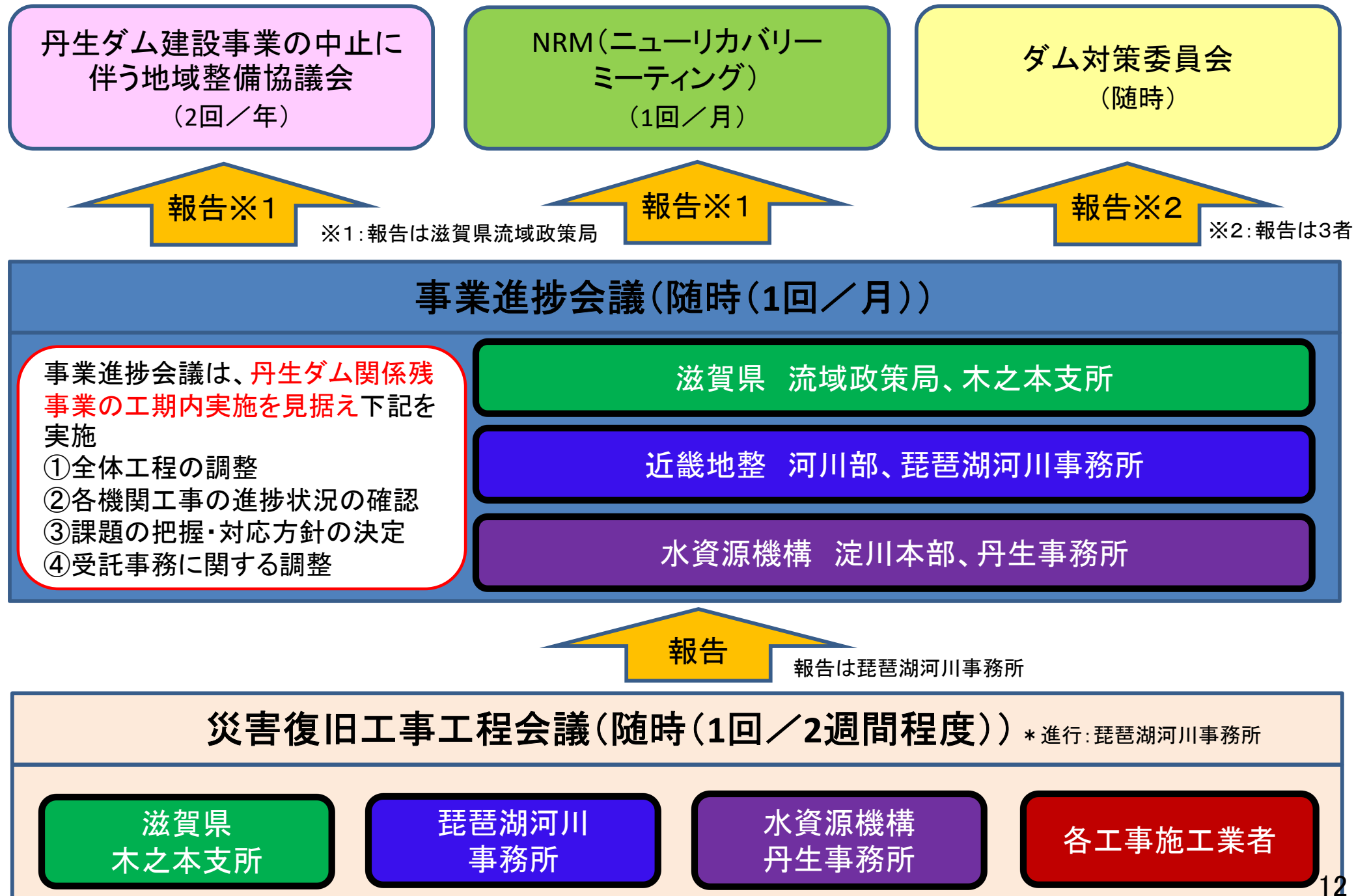
災害復旧のスケジュール

【災害復旧のスケジュール】

		令和4年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度
実施ステップ		調査、測量、設計	工事発注準備	施工		
取り組み状況 (予定を含む)	国	被災箇所の確認、復旧工法選定や仮設計画に関して協議	工程計画や施工主体に関して調整	発注済みや発注予定の水資源機構工事も含めた進捗管理や工程管理の実施		
	滋賀県					
	長浜市					
	水資源機構					
	管理者	施工者	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
高時川 (直轄区間)	国	国		○直轄災 1箇所 (完了)	○直轄災 1箇所	
県道 中河内木之本線	滋賀県	R5国 R6国・県		○補助災 1箇所 (完了) ○単独災 12箇所 (完了)	○補助災10箇所 (国) ○単独災4箇所 (滋賀県) 6箇所 (国)	
市道 奥川並線	長浜市	水資源機構		○補助災 7箇所 (完了)		

- 令和4年8月豪雨による災害復旧事業が各機関の協力により進められており、早期完了に向け、今後も各機関が連携して取り組む。

高時川等災害復旧工事と丹生ダム中止に伴う事業の工程調整体制



高時川中上流部における整備方針

令和4年8月出水を踏まえ、下流への流量負担増とならないよう以下の**3段階**にて、下流の改修完了を待つことなく中上流部の整備に着手することで、菅並・上丹生・下丹生・大見地先における治水安全度の早期向上を図る。

①緊急対応(R6.6完了予定)

下流への流量負担増とならないことが確認できた箇所について、浚渫・掘削を実施

②暫定対応(R6.10着手予定)

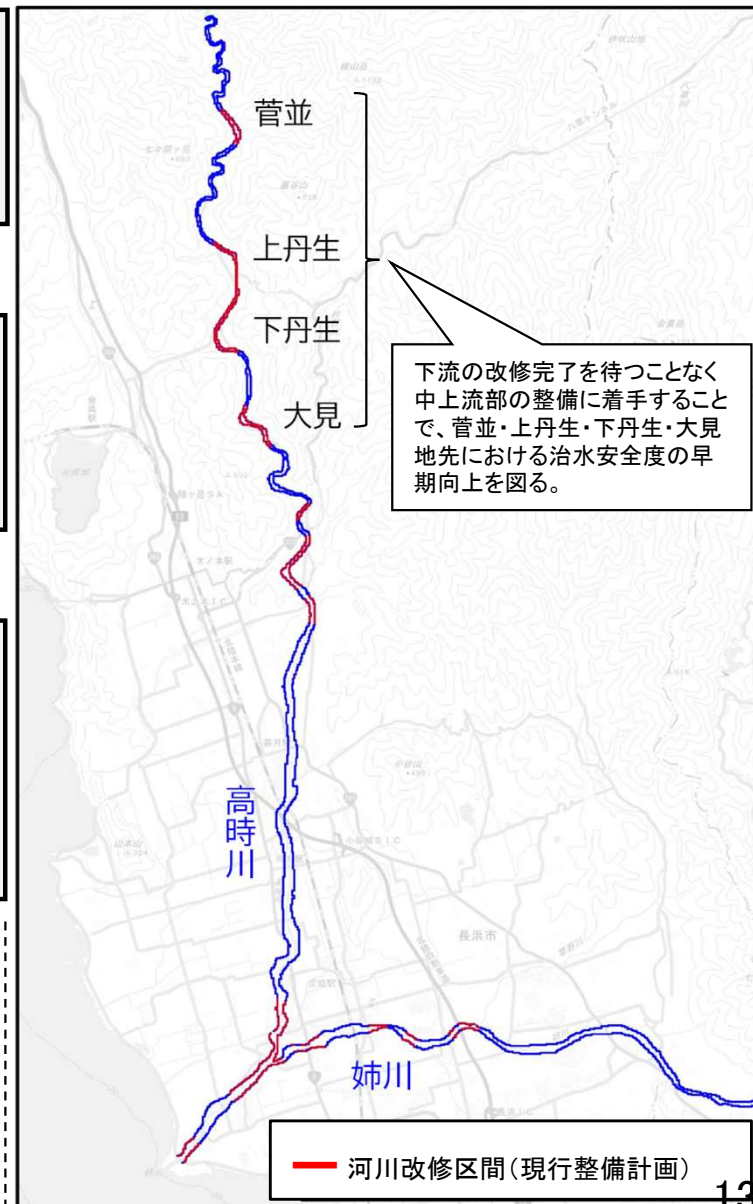
家屋の浸水被害を軽減する暫定的な整備メニューを実施(R4.8出水規模で床上浸水から床下浸水へ軽減)

③整備計画対応

現行整備計画に位置付けた整備メニューを、下流の改修完了を待つことなく順次進める(R4.8出水規模で床下浸水を解消)

■整備目標について

- ・高時川中上流における令和4年8月出水の実績相当の流量を安全に流すためには、現行整備計画からさらなる河道改修が必要となり、全体事業量が大幅に増え、改修完了までに更に多くの時間を要する。
- ・従って治水安全度の早期向上を図ることを優先し、整備手順の工夫を行うことで、まずは現行整備計画に位置付けた整備メニューを加速させる。



①緊急対応、②暫定対応について

①緊急対応：下流への流量負担増とならないことが確認できた箇所について、**浚渫・掘削**を実施

地区/整備メニュー	菅並地先	上丹生地先	下丹生地先	大見地先	
①緊急対応	内容 場所等	・中川原橋下流右岸の 部分掘削	・大宮橋下流の浚渫	・平篠橋上下流の浚渫	・医王寺橋上流から部分掘削
	期間 (予定)	・R6.3月着手済 ・R6年度出水期までに完了	・R6.3完了済	・R6.3月完了済	・関係者と調整後、掘削工の着手 ・R6年度中に完了
	効果	(R4.8出水に対して) ・浸水深 0.2m低下	・流下能力の向上	・流下能力の向上	(R4.8出水に対して) ・浸水深 0.4m低下

②暫定対応：家屋の浸水被害を軽減する暫定的な整備メニューを実施 (**掘削＋築堤**)

・R4.8出水時で被災した菅並、上丹生・下丹生、大見について、同出水に対して**床上浸水から床下浸水へ軽減**。

地区/整備メニュー	菅並地先	上丹生地先	下丹生地先	大見地先	
②暫定対応	内容 場所等	・中川原橋上下流左岸の築堤 ・貯留施設	・大宮橋上下流右岸の築堤	・平篠橋上流右岸の堤防嵩上げ ・河道掘削	・大見橋下流の河道掘削 ・大見橋架替の検討
	期間 (予定)	R6年度：設計業務、用地 R7～8年度：貯留施設の整備 R9年度：築堤	R6年度：設計業務、用地 R7～9年度：築堤	R6年度：設計業務、用地 R7～9年度：堤防嵩上	R6年度：河道掘削、 設計業務、用地 R7年度：大見橋架替検討 R9年度：大見橋 現橋撤去着手
	効果	・床上浸水 2戸 → 床下 1戸 浸水深 0.70m → 0.14m	・床上浸水 4戸 → 床下 3戸 浸水深 1.09m → 0.30m	・床下浸水 1戸 → 浸水解消 浸水深 0.27m → 0.00m	・床上浸水 2戸 → 浸水解消 浸水深 0.37m → 0.00m

③整備計画対応について

③整備計画対応：現行整備計画に位置付けた整備メニューを実施（掘削＋護岸＋大見橋架替）

●STEP1：大見地先の整備＋中上流部の貯留施設整備

地区/整備メニュー		大見地先	高時川中上流部
③整備計画	内容場所等	護岸整備、河道掘削、大見橋架替	貯留施設整備 ※ (下流への流量負担を生じないように中上流の河川整備を進めるための施設)
	着手時期	②暫定対応と並行して実施	②暫定対応の終了後
	効果	浸水家屋の解消	下流の改修完了を待つことなく中上流部の整備に着手できる

●STEP2：下丹生・上丹生地先の整備

地区/整備メニュー		下丹生・上丹生地先
③整備計画	内容場所等	下流から護岸整備、河道掘削
	着手時期	STEP1(下丹生地先)の終了後
	効果	浸水家屋の解消

●STEP3：菅並地先の整備

地区/整備メニュー		菅並地先
③整備計画	内容場所等	下流から護岸整備、河道掘削
	着手時期	STEP2の終了後
	効果	浸水家屋の解消

※姉川(下流部)および高時川下流部の進捗度を考慮した、貯留施設の整備を計画する。

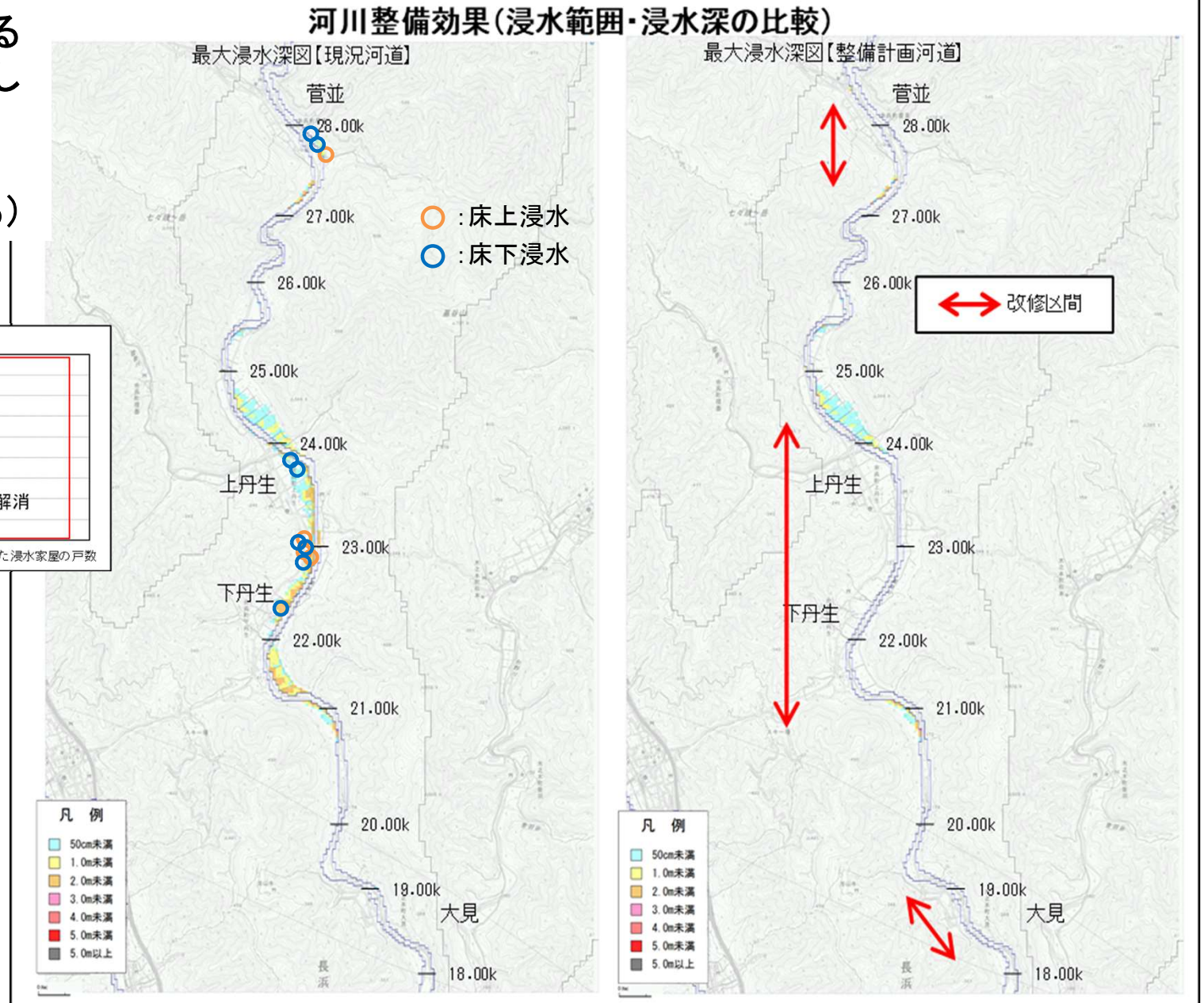
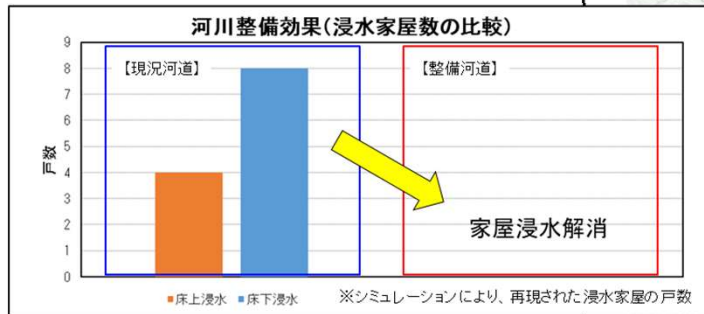
⇒4地先の床下浸水を解消

位置図



令和4年8月出水に対する河川整備効果

・中上流部の整備を完了することで令和4年8月出水に対して、家屋への浸水被害の解消を確認。
(シミュレーション結果による)



※地図データ(メッシュデータ)での浸水シミュレーションのため、大見橋の流木による浸水と相違があります。